

「ぶんぶんひろば」における授業の実践
「栄養指導各論実習Ⅱ」
(短期大学 食物栄養学科)

1 「栄養指導各論実習Ⅱ」について

本学における「栄養指導各論実習Ⅱ」は、栄養士養成カリキュラムの「栄養の指導」に位置付けられ、2年次に開講する栄養士資格取得のための必須科目である。栄養士法の改正（平成14年4月1日施行）を受けて、栄養士養成カリキュラムが改正され、「栄養の指導」においては、個人、集団及び地域レベルでの栄養指導の基本的役割や栄養に関する各種統計について理解するとともに、基本的な栄養指導の方法について修得することを目標とされた。それを受けて、本授業でも、食生活調査、教育の実施、評価を通して栄養指導の基本的な技術を学んでいる。その中の一つとして、幼児期の食生活の現状・実態について理解し、現場での実践を考慮した栄養指導を行う力を習得するために、子ども・子育て支援研究センター（ぶんぶんひろば）の利用者を対象とした食生活調査、栄養指導を実施した。

2 聞き取り調査

「子育て中のお母さんに聞きたい内容」を出し合い、アンケート用紙を作成する。学生同士で予備調査を行い質問内容や方法について修正し、事前準備を行う。服装、挨拶、立ち居振る舞い、個人情報守秘の意識等に留意するよう指導している。

調査内容は、欠食の有無、間食の回数と内容、食生活で気をつけていることや困っていること、興味のある食育活動などであった。平成24年11月6日（火）12時30分～13時、平成24年11月9日（金）13時10分～13時40分、各グループの代表者6名が、2人一組で聞き取り調査を行った。回収したアンケートは21名分であった。

「初めて入るぶんぶんひろばの雰囲気緊張した」「お母さんがこどもの対応をしながら、丁寧に応答してくれて嬉しかった」「ひろば内がにぎやかだったので、お母さんの声が聞き取りにくく書き取るのに苦労した」「こどもの対応が難しかった」など、担当した学生たちが感じたことを他の学生にも共有した。

アンケート結果から「子どもの欠食はない」「間食は市販のものを利用している方が多く、内容には個人差が大きい」「食べにくい食品も野菜から肉類まで幅広い」「対象の子どもが2歳前後であることから、遊び食べが多い」などの現状を把握することができた。

アンケートの結果を参考に、子育て家族を支援する食育の内容を各自（各グループ）考え、リーフレットや紙芝居などを作成した。さらに、アンケート結果もひろば内に掲示するとともに、保護者の方々へ配付した。

3 紙芝居

個人またはグループで作成したリーフレットや紙芝居などの中から、特に利用者に喜んでもらえる内容を学生たちが選び、食育を実施する。紙芝居とレシピ配付を、平成25年2月8日（金）13時15分～13時45分、学生5名で実施した。

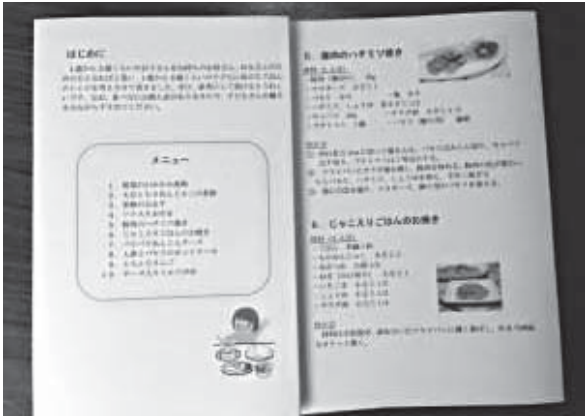


「もぐもぐごっくん」の紙芝居を行うと、子どもたちは、おいしそうに食事をする動物たちに興味津々。また、美味しそうに食べる女の子の登場場面に紙芝居に近寄ってくる子どももいた。



4 おいしいレシピの例

かむ力をつけるレシピ「根菜のかみかみ煮物」「大豆とちりめんじゃこの煮物」、野菜入りのおやつ「ツナ入りおやき」「人参とパセリのホットケーキ」などを紹介した。



5 まとめ

栄養士になる学生たちにとって、子どもや保護者と関わることができたことは、今後に役立つ貴重な経験となった。このような機会を重ねていくことで、学生の栄養指導力の向上を目指したい。

(文責：短期大学 食物栄養学科 江坂美佐子)